

**療養費支給申請書提出は、令和2年1月6日(月)、この日のみとさせていただきます。**  
**ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。**  
**郵送も6日必着でお願いします。**

## 「愛知県国民医療推進協議会」地域集会開催



11月21日(木)午後1時45分より午後2時15分まで、愛知県医師会館9階大講堂にて「愛知県国民医療推進協議会」地域集会が開催された。

本会より、森川会長他役員・支部長10名が出席した。開会の辞に続いて柵木 充明医師

会長が挨拶に立ち、医療が置かれている現状とこれからの展望を話された。

続いて国会議員の紹介があったが本会議中ということで議員の出席はなく秘書の代理出席であった。

次に、趣旨説明を大輪 芳裕愛知県医師会調査室担当理事が話され、これに対して加藤 愛子愛知県女性団体連盟会長が意見を述べられた。

最後に医療界を代表して森川 伸治本会会長が決議文を朗読され、満場一致で可決され閉会の辞ののち終了となった。

(広報部 古賀 一)

## 大府市地域総ぐるみ防災訓練



11月24日(日)午前10時より大府市共和西小学校グラウンドにて「令和元年度大府市地域総ぐるみ防災訓練」が開催され、石川 真、岩切 誠、春日井 弘治、西松 信明の半田支部会員4名で参加した。

「大地震及びこれに起因する水害」を想定し、今回も訓練車両に乗り込み車両入場し、本部前で停車し、災害対策本部長(大府市長)に柔道整復師支援活動訓練

の報告をしてから訓練を開始する、というスタイルで始まり、我々は、避難所生活支援活動としてエコノミークラス症候群の予防体操の指導にあたり、実演しながら市民と一緒に進んだ。

78名もの大変多くの方が我々のブースに来てくださり、休む間もなく指導し体験していただいた。(半田支部 西松信明)

## 東海市民総合防災訓練



11月23日(土) 東海市明倫小学校にて令和最初の東海市民総合防災訓練が行われた。東海市会員11名が参加し、午前11時30分に集合し明倫小学校へ車を乗り合わせ向かった。

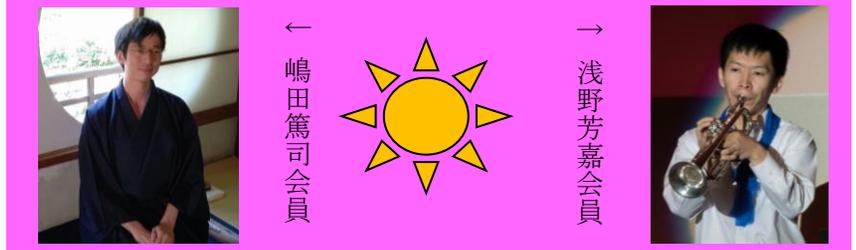
12時30分より、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、柔道整復師が合同で打ち合わせを行い、役割分担の説明があった。

訓練では、傷病者を担架や手を貸して、重傷者・軽傷者のブースへ運び医師の指示の元、医療従事者が応急処置を行い、緊急に治療が必要と判断された傷病者は、自衛隊の車両で病院へ移送する流れであった。

近隣の市民も参加し消火器の使用方法やバケツリレー消火体験や身近なものを使い担架や救護に充てるものを作成する体験があった。市長をはじめ、さまざまな職種の方々が集まり、実際の災害での役割分担等の指示系統がわかり大変勉強になる一日でした。

(半田支部 宮永泰明)

Welcome!! 新入会員



氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
嶋田 篤司	S57.7.19	鶴舞	米田柔整	—	茶道
浅野 芳嘉	H1.4.2	一宮	米田柔整	—	楽器

## 東海市ハーフマラソン 2019救護ケア



12月8日(日)東海市市制50周年を記念して初のハーフマラソン大会が開催され、太田川駅西大屋根広場にて午前8時30分に開会式が始まり、ハーフマラソン・10キロ・2キロの部に分かれて、約8,000人もランナーが参加した。

松田半田支部長はじめ、12名の半田支部会員で東海市芸術劇場1階ワークショップ室にて7時45分からケア・テーピングの活動を開始した。午前9時15分には最初の部がスタートするので時間との闘いであった。

東海市での活動は初めてで、柔道整復師らしい活動として、今まで他の地区のマラソン大会に参加した時はゴール後のケアの手技が中心であったが、今回からはスタート前の選手のサポートも担当することにし、そのため通常よりもテーピング処置が多くなった。

午後12時30分までで施術の受付を締め切ったが、終わってみれば187人も選手が利用した。(半田支部 鬼頭資治)

## 第45回ひがしうらマラソン大会救護ケア



12月15日(日)あいち健康の森公園にて、東は東京、西は兵庫からと町内外から2,548名の選手が集まり、この中に押谷昌之(大曾根支部)会員が参加していた。最高齢男性85歳、女性79歳のアクティブシニアの参加が光る「第45回ひがしうらマラソン大会」が開催され、半田支部会員10名、勤務柔整師4名で朝7時半より、今年で3回目の救護ケアに参加した。今回は初の試みで出走前の選手にパフォーマンス向上や、怪我予防の目的で、ストレッチやテーピングを施行し選手がレースに集中できる様に身体の不安を取り除いた。

来年はストレッチやテーピングの必要性についてもっとしっかりと事前に告知し、より沢山の方に体験してもらおうという課題ができ、まだまだ3回目のため伸び代があると感じた。

(半田支部 田畑裕也)

